

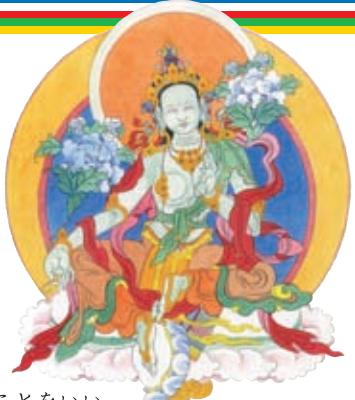
A
rt

Special program

アーティスト達による一夜限りのコラボレーション

『觀音菩薩 開眼のひととき』

日時:4月28日(日)18:00~(開場17:30)



昨年11月3日、絵師ウゲンが高野山の地で描き始めた觀音菩薩像を、この度、神戸六甲の地で開眼させていただくこととなりました。

開眼とは、新造の仏画や仏像の最後の仕上げとして像に眼を点じることをいい、これによって初めて像自体が仮性の器となります。

また当日は、各分野で独自の道を歩まれ活躍中のアーティストの方々が、觀音菩薩像開眼を共に祝いコラボレートしてくださいます。

さて、どのようなひとときとなるでしょうか…

この貴重なひとときを、ご縁あってお集まりいただいた皆さんと共に過ごせますことを一同心より楽しみにしております。

華舞音

華

舞

音

A
rt

◆ウゲン・ナムゲン (タンカ絵師)

チベットのロカ・チュスムに生まれる。11歳よりラサにて、チベット美術界の大家であり親類のテンパラブテン師の元、内弟子として厳しい修行を積む。修行後の1年間、中国雲南省のチベット圏、デチェン県ドゥントゥリン寺にて壁画の制作と僧侶へのタンカの指導に携わる。'98年~、ラサにてタンカの制作と弟子の育成に励む。'04年、来日。大阪在住。'06年、岐阜県広瀧寺の依頼により2m×2mの大作『阿弥陀極楽浄土図』を2年の歳月を掛け描き納める。タンカの制作、堺市や神戸市(神戸新聞文化センター・三宮KCC)にて、タンカの指導を行なう。「チベット絵画の技法と素材」(佛教大学アジア宗教文化情報研究所発行)の付録DVD「タンカの制作過程」にてタンカ制作に携わる。

(流派)古メンリ派

◆片桐 功敦 (華道家)

大阪府堺市の生け花流派、花道みささぎ流家元。主水書房主宰。
'01年春より、桜一色の展覧会を開催。'05年、堺市にて【主水書房】を設立・運営。

'08年、初の桜のいけばな作品集【見送り/言葉】を上梓。

'11年、10万本の桜の枝を使用した生け花展「泉/滝」(佐川美術館)、3年にわたり執筆した朝日新聞のコラム【シゼンのカケラ】を京阪神エルマガジンから上梓。個性の際立ったいけばなのスタイルは伝統から現代美術的なアプローチまで幅広く、異分野の作家とのコラボレーションも多数。

小さな名もなき野草から、長年のテーマである桜を用いた大規模ないけばなまで、その作品群はいけばなが源流として持つ【アニミズム】的な側面を掘り下げ、花を通してひとときの空間を産み出す事に一貫している。

◆Minalu (ダンサー)

dance prana主宰(旧さんしゃいん俱楽部)、天空オーケストラメンバー(歌・ダンス)。上方舞、山村流名取。幼少より、神楽舞、日本舞踊、ジャズ、コンテンポラリー、アフリカンダンス等を習得後、様々なジャンルのアーティストと、ステージ、聖地での奉納、イギリス公演等でコラボレートする。ミック・ジャガー東京ドーム公演、ファッショニショー、各種イベントなど多くの舞台で活動。
'87年よりソロ活動を開始。'91年頃より、他のジャンルのアーティストとのコラボレーションを積極的に行い、即興を核としたスタイルにいたる。
満月新月のインナーダンスワークショップを開催後、『アースダンス』というコンセプトでワークショップを展開。明日香石舞台、大和三山、天河大弁財天社、伊勢猿田彦神社、出雲大社、斎場御嶽、久高島、普門寺、氣多大社、佐田大社、富士山(WPPD2006)、HAWAI・オアフ島等で舞奉納。

◆奈良 裕之 (民族楽器奏者)

'94年より世界の民族楽器による即興演奏を始める。ライフワークとして、多くの福祉施設・教育施設・病院などで演奏し、人々と深く交流している。
舞蹈・詩・絵画・写真などのコラボレーションや、アイヌ詩曲舞踊団「モシリ」との共演にて、日本列島スピリットツアーや、インドネシアで演奏。映画「地球交響曲(ガイアシンフォニー)第六番」の『虚空の音』の章に出演。同じく「地球交響曲 第三番」出演のアラスカ先住民の語り部ボブ・サム氏と'98年より各地で共演。一般公演の他、日本各地や海外において、神社・寺院・遺跡・教会・聖地などで奉納演奏を数多く行う。人の奥深くに眠る本質に伝え響く音楽として、ワークショップ(サイレント・セッション)、瞑想やヒーリングとのコラボレーションも行う。また音楽活動の他、写真や書の個展も開いている。

【お知らせ】觀音菩薩様に菓子類をお供えしていただける方を募っております。ご希望の方は事前ヤマダまでご連絡お願いいたします。
お供えはセレモニー終了後、皆様にお振舞いさせていただきます。

参加費:ご予約3,000円、当日3,500円 〈お問い合わせ・ご予約〉:info@thangka-iori.net / TEL:080-5321-3795(ヤマダ)